

## 第2回 薩摩金襴手 新妻 守作陶展

■ 3月3日(水)～9日(火)

■ 本館5階=美術画廊

※最終日は午後3時閉場

薩摩藩藩主専用のお庭焼として約400年前に生み出された薩摩金襴手。独特の金襴手高盛の技術と緻密な絵付け、そのまばゆいばかりの美しさが諸外国の人々に「SATSUMA」の名をもって最高の賞賛を博し、その名が広く世界に響き渡ったのです。

陶器には珍しい高貴な紫の色合いや精緻な絵付、また繊細な透かし彫りなど、現代に受け継がれる白薩摩の伝統の技が光る新作を発表いたします。



虫籠香炉 紅ぼかし 桜文(径9.3×高15.6cm)  
660,000円



金襴手香炉 桜尽くし(径18.9×高17.5cm)  
1,320,000円



飾り壺  
紫ぼかし藤文  
(径8.0×高26.5cm)  
330,000円



紫地藤桜文  
耳付壺  
(径9.1×高21.8cm)  
693,000円

新妻先生ご来場予定 ■3月6日(土)・7日(日) ※都合により中止の場合がございます。